

令和 6 年度かすかべ未来研究所 調査研究事業
地域住民と外国人との共生における課題の研究
～双方が安心して過ごせるかすかべに向けて～

1 研究の概要

- ・近年、少子高齢化の影響や人口減少に伴う労働者人口の減少により、外国人労働者の受け入れが拡大している。
- ・日本政府は、令和 6 年 3 月に、技能を持たない未熟練の外国人でも労働力として受け入れていく「育成就労」制度を閣議決定し、今後も外国人居住者の増加が見込まれる。
- ・そうした背景もあり、日本における外国人居住者数は技能実習生、留学生、就労ビザ人材の増により、増加傾向となっている。
- ・日本における外国人労働者の割合が増えていく一方、外国人が日本で居住するにあたっては、様々な課題が指摘されている。
- ・具体的には、ごみ捨てルールの問題、こどもの教育問題、防災活動、地域コミュニティへの参加などが挙げられており、全国的な問題となっている。
- ・地方自治体においても、外国人居住者の増加が続くことにより、地域住民に与える影響は大きくなると共に、観光や外国人居住者との交流を目的とした外国人訪問客の増加も想定される。
- ・本研究では、地方自治体における外国人居住者ならびに外国人訪問者が地域住民に与える影響や環境の変化による課題を把握すると共に、課題解決に向けた効果的な方策について検討し、外国人と地域住民双方が安心して生活・交流できるよう調査・研究をするものである。

2 研究の背景

- ・春日部市においても外国人居住者数は、この 5 年間毎年増加傾向にある。
令和元年度 3,948 人、令和 2 年度 4,281 人、令和 3 年度 4,489 人、
令和 4 年度 4,904 人、令和 5 年度 5,346 人、令和 6 年度 5,773 人

※令和元年度から令和 5 年度までは 10 月 1 日現在、令和 6 年度は 4 月 1 日現在の人口

- ・今後も増加が見込まれる外国人訪問客と外国人居住者が本市において地域住民と交流・共生するにあたり想定される課題とその対策を検討する必要がある。
- ・本市の外国人の取組としては、春日部市国際交流協会との共催により日本語教室を開催している。
- ・日本語教室では、日本語を学ぶだけでなく、日常生活に関わる身近な相談や情報提供を行うなど、ボランティアスタッフの協力の下、外国人住民を支援する場にもなっている。

- ・総合振興計画では、施策 3-1-2「多文化共生と国際交流の推進」において、外国人住民やインバウンドにより訪問された外国人に対応するため、多言語やわかりやすい日本語での情報発信に努めるとしている。
- ・また、春日部市国際交流協会をはじめ、各種団体が実施する日本語教室などの国際交流事業を支援し、多文化共生の意識の醸成と外国人住民の地域参加を促進するとしているところである。

3 目的

- ・近年増加傾向にある外国人が、本市において孤立せず、安心して暮らす上での課題を抽出し、そのために必要な支援について検討する。
- ・外国人が居住する地域において、元々居住している地域住民も安心して暮らせるために必要な課題の抽出および方策を検討する。
- ・外国人訪問客が訪日中に安心して本市で過ごせるために必要な方策を検討する。

4 研究内容

- (1) 春日部市における外国人人口動態の現状分析
- (2) 春日部市における外国人訪問客の推移と分析
- (3) 外国人の本市での居住における課題の抽出ならびに対策の検討
- (4) 外国人に対し、必要な情報が届くようにするため、近年他自治体でも利用されている「やさしい日本語」などの事例を参考にしながらその手法について検討
- (5) 他自治体における効果的な取組事例調査および春日部市の近い将来において課題となる案件について検討

5 計画（スケジュール）

作業内容	令和 6 年									令和 7 年		
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
現状と課題の整理												
他自治体の調査・分析												
他自治体への視察・ ヒアリング												
課題に向けた方策の作成												
中間報告												
提案内容の作成												
最終報告												
研究グループの組織												